

---

# 無死殺し 1

NASSAN

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

無死殺し 1

### 【Nコード】

N8718Y

### 【作者名】

NASSAN

### 【あらすじ】

人の手では決して殺すことの出来ない  
神の作りだした悪魔「無死<sup>ムシ</sup>」  
それをこの世から消し去る「無死殺し」達の物語

(前書き)

はじめて小説を書きました

ちよつと厨二くさい作品かも・・・

文の書き方などが下手です

アドバイスや感想をくれるとうれしいです!!!

この世に神が作り出したヒトガタの異端

決して死なない・・・

決して殺すことのできない・・・

「無死<sup>ムシ</sup>」

あらゆる兵器・武術など無死の前では無力

その無死を消し去ることが出来るものはこの世にただ一つ

「イモータルキラール」

通称・無死殺し・・・

とある暗い部屋の中・・・

「痛むかい？」

メガネをかけた20代くらいの男は注射器を手に言う・・・

「少し・・・」

おそらく10歳にも満たないであろう少年が答える

「そうか、しかし君はこれから人類の希望になるんだよ。もう少しの辛抱だから」

「じゃあ、痛いのが我慢する！」

少年は万弁の笑みで言った・・・

そして、先ほどの麻酔が聞いた少年は深い眠りに就く・・・

それを見ているメガネの男は静かに微笑む　　静かに・・・

目が開き少年は宿のベッドの上で起き上がった

「昔の夢か・・・」

右目に眼帯を付けた片腕の少年はつぶやく・・・

「ちっ、なんでいまさら・・・」

少年は昔の夢を見るたびに不機嫌になる

「ジーン!!!」

小学生くらいの子どもが元気に部屋の戸をあけた

「ジン！目覚めはいかがかな？」

笑顔で子どもが問う

「ああ、とてもいいよポポ」

ジンも笑顔で答える

「ジンって旅をしてるんでしょ？なんで？」

「ちよつとね、いろいろやらなきゃいけないことがあって」

「ふーん、そうなんだ、じゃあ何で左腕がないの？」

しばらくの沈黙

愛想笑いでジンはごまかす

何かを察したポポが話題を変えた

「あ、ちよつと待ってて、今朝食持ってくるからさ」

「ありがとう、助かるよ」

ポポは大急ぎで走ってゆく

ふうつとジンは一息つく

彼は旅をしていてこの小さな町の宿に立ち寄った

ポポはこの町の宿屋の息子だ

どうやらジンになついたらしくジンもポポを気に入っていた

「朝食持ってきたよー！！」

ポポが朝食を手に部屋へ戻ってきた

「俺の母さんの料理は天下一品だぜい」

そこにはシンプルだがたしかに食欲をそそる手料理があった

「確かにとてもいいにおいだ、じゃあいただくとするよ」

焼き魚を一口食べる

「美味い！」

「だろだろ！！」

ポポはうれしそうに言う

「ところでポポの父さんはどうしたんだ？仕事か？」

一瞬、ポポの顔から笑顔が消えた・・・

「父さんは無死に殺された・・・」

しまった、と思った時にはもう遅かった

「すまんポポ・・・」

ジンはつぶやくように言った

「いいって、気にすんなよ」

ポポは悲しそうな笑顔で言った

「だから父さんの敵は俺が討つ！俺が無死殺しに、英雄になって・  
」

「やめろ！！！！」

いきなり怒鳴ったジンにポポは言葉を失う

「お前は無死殺しが何なのか分かっていない、お前じゃ、無理なんだ・・・」

ジンの表情は厳しかった

「なんでそんなこと言うんだよ・・・」

ジンは冷静さを取り戻す

「ポポ・・・俺は・・・」

「ジンのバカヤロー！！！！」

ポポは泣きながら外へ飛び出していった

「ポポ！！！！」

ジンがポポを呼び止めたその瞬間・・・

「無死だああ 無死が来たぞおお」

町に叫び声が響き渡った

「タイミングが悪すぎる！！」

（ポポが危ない！！！！）

ジンは宿を飛び出した

そこには何体かの町の人々の残骸があった

「くそっ！！！！」

ジンは走り出した

（ポポ、無事でいてくれ）

ジンはポポを探し、走り続ける・・・

続  
く

(後書き)

はじめましてNASSANです

初投稿になります

読んでいただいて

感謝感謝です!!!

本当はバトルシーンまで行くつもりだったんですが

時間の都合上中途半端になってしまいました すみません

これからもがんばっていくつもりなので

アドバイスや感想などくれるとうれしいです!!!

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8718y/>

---

無死殺し 1

2011年11月26日04時45分発行